

県政レポート No.29 <2025.12.20 高橋淳事務所 発行>

山形県議会議員 高橋 淳 (鶴岡市選挙区・無所属)

【令和7年度県議会所属委員等】※県政クラブ 総務会長

○商工労働観光常任委員会(委員) /○予算特別委員会(委員) /○再生可能エネルギー活用・地域経済活性化対策特別委員会(副委員長) 他

【高橋淳事務所】〒999-7601 鶴岡市藤島字古橋跡 100-1 TEL:(0235)26-8731 / FAX:(0235)26-8732

E-mail: takahashi.jun.kouenkai@gmail.com/ →日頃の活動等は QR コードを参照ください(Facebook 及びホームページ)



山形県議会 12月定例会が閉会!

県議会 12月定例会が閉会いたしました。

今回の補正予算は、地域別最低賃金の大幅な引き上げを受け、「中小企業・小規模事業者」に対して、緊急的な支援を行うほか、本県が直面する様々な課題への対応や、給与改定等に伴う人件費の補正などです。



商工労働観光常任委員会でも質疑・質問をさせていただきましたが、急激な賃上げに苦慮されている「中小企業・小規模事業者」の負担を軽減し、労働者の賃上げを後押しするため、支援金を支給するものであります。

また、諸課題として、今年の記録的な高温・少雨の状況を踏まえ発動した「山形県農林水産物等災害対策事業」による揚水ポンプや散水・灌水システム機器、遮光資材の購入等への支援を増額する他、さくらんぼの結実確保に向けたミツバチ等の導入支援、市町村が行う「松くい虫」被害木除去に対する追加支援です。

また、15日に物価高騰の影響を受ける生活者・事業者への支援など、防災・減災、国土強靭化の充実を図る追加提出案件が示されました (LPガス料金の負担軽減、プレミアム商品券等発行事業など)。

今定例会の補正予算案総額は、641億87百万円です。[詳しくは、山形県HPをご覧ください。](#)



令和8年度 当初予算の要求概要!!

今年も各企業や関係団体、JAグループなどからご要望等をいただき、国・県などへ多くの要請・要望活動を実施したところですが、令和8年度当初予算の要求概要(一般会計)が示され、様々な分野での要望項目が当初予算に盛り込まれたところです。



なお、新年度予算案については、県議会2月定例会で審議し、決定する運びとなります。

	令和8年度 要求額	増減額	増減率
予算規模	7,004 億円	250 億円	3.7%
(1)人件費	1,618 億円	140 億円	9.5%
(2)社会保障関係経費	731 億円	15 億円	2.1%
(3)公債費	919 億円	31 億円	3.5%
(4)一般行政費	2,611 億円	20 億円	0.8%
(5)投資的経費	1,126 億円	44 億円	4.1%
①公共事業	401 億円	20 億円	5.2%
②単独事業	385 億円	74 億円	23.8%
③災害復旧事業	199 億円	▲56 億円	▲22.0%
④国直轄事業負担金	141 億円	7 億円	5.2%

※(参考)令和7年度予算規模は 6,754 億円です。

デフリンピック! 小鷹選手が金メダル!

東京 2025 デフリンピックに、本県から 5 名の選手が出場し、県民に感動を与えて頂きました。心よりお祝い申し上げます。



※[鶴岡市出身の小鷹実春選手が金メダル\(バスケットボール競技\)](#)、[酒田市出身の斎藤心温選手が銀メダル\(サッカー競技\)](#)、[斎藤京香選手\(水泳競技\)がメドレーで銅メダルを獲得されました。](#)

鶴岡工業・加茂水産高校修繕工事

山形県立鶴岡工業高等学校及び加茂水産高等



学校においては、建物内の雨漏りや外壁剥離などの老朽化により、春先に現地調査を実施し、県側への要望やヒアリングを

実施したところですが、今年度、修繕補修の予算を計上していただき工事が完了したところです。

先般、学校側から御礼などのご連絡を頂いたところですが、引き続き、諸課題に向けて協議・検討して参ります。



ひきこもり支援! 請願審査可決!!

「山形県におけるひきこもり支援の制度拡充及び充実を求める請願」及び「ひきこもり支援基本法の制定を求める意見書」の提出が可決されました。



内閣府調査によると、ひきこもり状態にある人は、全国で15歳から64歳までの年齢層に146万人おり、50人に1人と推計されています。

高齢化が進む中、80代の親と50代のひきこもりの子が孤立・困窮する「8050問題」や、親が亡くなった後の本人支援等の問題が大きな社会問題となっており、ひきこもり支援に特化した法律は、現時点では制定されていません。

※本県では、国が創設した「ひきこもり支援ステーション事業」を活用し、相談支援及び居場所となる事業所を開設し強化を図っているところですが、同様の体制を整備している自治体は低位です。

羽黒町 笹川橋付近の災害復旧完了!!

旧羽黒町の方からご相談をいただき、市野山(笹川橋付近)の敷地内が9月上旬に陥没(浸食)したことを受け、現地調査を実施いたしました。住民への影響や笹川橋護岸崩壊の危険性があり、県河川砂防課より修繕工事をいただいたところです。



温海下向二号トンネル・櫛引河川工事等

現在、あつみ温泉から温海川方面に向かう県道44号線の下向二号トンネルの照明工事などが行われています。



以前からトンネル内が暗く、霧が立ちこめると見通しが効かなくなり、地元住民からご要望を頂いておりましたが、県側から報告があり、今年度中に工事が完了する見込みです。

また、櫛引西荒屋(産直あぐり)の角田川については河川流下能力向上・持続化工事を終えたところですが、今後、上流側の越水が想定されること



から冬期間に追加の河川浚渫工事が行われます。

そして、藤島川を流れる庄内シャーリング脇の堆積土砂も今年度中に撤去される予定であり、西渡前側からの水路のバックウォーター現象も解消されます。

県議会レポートあとがき

日本漢字能力検定協会による世相を1字で表す「今年の漢字」が「熊」となりました。

県内クマ目撃件数は約2,700件を超えており、「災害」と言える異常事態です。地元の方々から、「夜間も怖くて歩けない」などのお話を聞きしており、我が会派と知事・副知事との意見交換において、私から市町村と連携し、「防犯灯」などの普及拡大についてご提案を申し上げたところです。



そして、来年は午年です。近年、頻発・激甚化する自然災害は勿論、戦争や紛争のない、「平和で安定した社会」が築かれることを願い、県内企業や働く人たちが、更に「飛躍」できる年でありますよう心からご祈念申し上げます。